

スピーチコンテストに出場して

英語英文学科 4年 植松 真理子

今回のスピーチコンテストは私にとって本当にいい思い出になりました。私は1年生のときから「一度でいいからスピーチコンテストに出場してみたい。」と思っていたのですが、しかし自分自身に自信もなければコンテストに出場できるほどの英語力もないと思い、エッセイすら出すことが出来ませんでした。それどころか英語を勉強すること 자체が嫌いになつていく一方でした。

ところが、今年になつてたくさんの英文科の友人と後輩が出来ました。彼らはいつもいつも楽しそうに英語に触っていました。彼女たちは毎日のように熱心に英語を勉強していました。そして皆は私に楽しく英語を勉強することを教えてくれました。だからこのことを誰かに伝えたいと思い、たくさんの先生方、たくさんの友

達の協力を得て、エッセイを書き上げました。嬉しいことに4年生になつて初めてエッセイを出し、初めてスピーチコンテストに出場することができ決まりました。

いざスピーチコンテストに出場することが決まるほど、そこからまた大変な毎日が始まりました。私は自分自身に本当に自信がなく、本番は上手くスピーチが出来るかどうか不安で不安で仕方がありませんでした。「賞はないらしい。ただ後悔はしたくない。」と強く思い、お忙しい中、たくさんの先生方に何回もエッセイをチエックしてもらい、文法、語彙、発音を何度も何度も直してもらいました。友達や後輩にも何度も聞いてもらい、間違いを指摘してもらいました。今となつては、その練習した日々が私にとって素敵な思い出になっています。

私は英文科の皆さんに伝えたいことがたくさんあります。それは諦めないこと、夢を持つこと、そして楽しく英語を学んでいくことです。私は自分の気持ちや思っていること、今まで学んできたことが観客の皆さんに伝わって、私のスピーチを聴いた後に何か思つてくれればそれでいいなと思つていました。これが私の目標でした。当日はおかげさまでオーディエンス賞を頂くことが出来ました。

たくさんのサポートとたくさんの応援があつたからこそ、当日は納得のいくスピーチができると思います。私を支えてくれた多くの人に感謝し、これからも頑張ついていきたいとお思います。そして英文科の皆さんに是非、スピーチコンテストにチャレンジしてもらいたいです。必ず多くのことを得られると思います。